

市政に生かします!

皆さんの声



市長Eメール、市長さわやかサロン、市長ホットメールなど、市民の皆さんから、多くの建設的なご意見をいただき、ありがとうございます。ご意見は、市政の参考にさせていただきます。

ここで、皆さんのご意見の一部を紹介させていただきます。

一階市長室 さわやかサロン

毎月一回、市役所一階の会議室を開放して開催している「さわやかサロン」は、今年で五年目を迎えます。10分、15分という短い時間ですが、昨年是一年間で延べ三十二件の皆さんの「生の声」を市長自らが聞かせていただきました。

皆さんからいただいた要望・提案などは、今後の市政に反映していきます。

市長Eメール

笠岡市のホームページから直接市長にメールを送信することができ、昨年、百件を超えるご質問・ご提案をいただきました。

なかでも、昨年は国体開催の年であっただけに、選手関係者から民泊協力会のおもてなしに対する感動を伝えるメールをいただきました。また、九州の小学校からは、カブトガニについて学習しているの

で、詳しく内容を教えてほしいというメールも届きました。こうした県外の皆さんからいただく数々のメールを拝見すると、日本中が身近に感じられます。



「電話では伝えにくいけど、メールなら...」と思われるいる皆さん、どしどしクリックしてください。

市長ホットメールに 寄せられた声

Q 私の住んでいる地区には学童保育がありません。夫婦共働きが当たり前の時代

ですが、不審者の出没や、幼い子どもの留守中の火事など、子どもを鍵っ子にするのはとても不安です。市としての方針をお聞かせください。

A 昼間に子どもの面倒を見ることができない家庭の

ための放課後児童クラブは、市内に八カ所あります。クラブの設立には、国の補助金の交付条件から継続的な利用児童が10人以上であることが必要となります。

また、利用児童数に応じた指導者を配置しなければなりませんし、運営上の方針決定や課題の解決をするための運営委員会を設置しなければなりません。

子どもたちにとって最善のクラブを設置するためには、保護者と市の連携が不可欠です。市としても、少子化が進む中、子育てしやすい環境をつくるためのクラブの必要性を感じています。今後、クラブが設置されていない小学校区を対象にアンケート調査を実施し、ニーズの把握を行いたいと思います。アンケートの結果、利用希望の児童数が基準を満たす場合は、保護者の皆さんのご協力をいただきながら、設置について検討したいと考えています。

Q 使えなくなった乾電池は、燃えないごみの中に入れて

ないように聞いています。どうやって出したらよいのでしょうか。他の町は、一カ月に一回収集があると聞きました。電池の分別収集はできないのでしょうか。

A 使用済乾電池を出す場合には、

- ①燃えないごみとして指定袋に入れてごみ収集に出す。
- ②家電販売店などが設置している回収ボックスに入れる。

という二つの方法があります。ただし、①の場合、最終的には埋立処分をすることになり、再利用ができませんので、②の方法により、リサイクルに努めてくださるようご協力をお願いします。

なお、現在のところ、笠岡市では乾電池は分別収集の対象としていません。これは市内だけでは乾電池の収集量が少なく、分別収集を行うには非効率であること、一時保管場所の確保が必要であることなどを総合的に判断したもので、井笠地域全体として実施できないか関係市町と協議している状況です。

(担当…環境課)